

ドレンセパレータ FXW 屋外シリーズ

取扱説明書

SM-A58844



- 製品をご使用になる前に、本取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- 本取扱説明書は必要なときにすぐ取出して読めるように、大切に保管してください。

はじめに

このたびは、当社のドレンセパレータ「FXW 屋外シリーズ」をお買求めいただきまして、誠にありがとうございます。本取扱説明書は本製品の性能を十分に発揮させるために、取付、使用方法などの基本的な事項を記載したものです。よくお読みいただき、正しくご使用ください。

なお、本取扱説明書は紛失しないように、大切に保管してください。

本取扱説明書に記載の仕様、外観は、将来予告なく変更することがあります。

- 本製品を使用するにあたって、材料や配管、電気、機構などを含めた空気圧機器についての基礎的な知識を持った人を対象にしています。知識を持たない人や十分な訓練を受けていない人が選定、使用して起こした事故に関しては、当社は責任を負いません。
- お客様によって使用される用途は多種多様にわたるため、当社ではそれらのすべてを把握することができません。用途、用法によっては流体、配管、その他の条件により性能が発揮できない場合や事故につながる場合があります。用途、用法にあわせてお客様の責任で、製品の仕様の確認、使用方法の決定を行ってください。

安全にご使用いただくために

本製品を使用した装置を設計、製作する場合は、安全な装置を製作する義務があります。そのためには、装置の機械機構と、空気圧制御回路または水制御回路、これらを電気制御するシステムの安全性が確保できることを確認してください。

装置の設計、管理などに関する安全性については、団体規格、法規などを必ずお守りください。

ISO 4414、JIS B 8370、JFPS 2008(各規格の最新版)

高圧ガス保安法や労働安全衛生法、その他の安全規則、団体規格、法規など

当社製品を安全にご使用いただくためには、製品の選定、使用、取扱い、保全管理を適切に行うことが重要です。

装置の安全性確保のために、本取扱説明書に記載の警告、注意事項を必ずお守りください。

本製品にはさまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、

必ず本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解したうえでご使用ください。

注意事項は危害、損害の大きさと発生の可能性の程度を明示するために、「危険」「警告」「注意」の3つに区分されています。

 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険が差迫って発生することが想定されるもの。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されるもの。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性が想定されるもの。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているため、必ずお守りください。

その他、一般的な注意事項や使用上のヒントを以下のアイコンで記載しています。



一般的な注意事項や使用上のヒントを表します。

製品に関する注意事項

警告

取扱いは十分な知識と経験を持った人が行う。

本製品は、一般産業機械用装置・部品として設計、製造されたものです。

製品の仕様範囲内での使用を守る。

製品固有の仕様外での使用はできません。また、製品の改造や追加工は絶対に行わないでください。本製品は一般産業機械用装置・部品での使用を適用範囲としているため、屋外(屋外仕様製品を除き)、次に示すような条件・環境で使用する場合には適用外とさせていただきます。(ご採用に際し当社にご相談いただき、当社製品の仕様をご了解いただいた場合は適用になります。ただし、その場合でも、万一の故障に備えて危険を回避する安全対策をとってください。)

- 原子力や鉄道、航空、船舶、車両、医療機械、飲料・食品などに直接触れる機器や用途での使用。
- 娯楽機器や緊急遮断回路、プレス機械、ブレーキ回路、安全対策用など、安全性が要求される用途での使用。
- 人や財産への大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途での使用。

安全を確認するまでは、本製品の取扱い、配管・機器の取外しを絶対に行わない。

- 機械、装置の点検や整備は、本製品が関わるすべてのシステムの安全が確保されていることを確認してから行ってください。また、エネルギー源である供給空気や供給水、該当する設備の電源を OFF にし、システム内の圧縮空気、流体は排出し、水漏れ、漏電に注意してください。
- 運転停止時も、高温部や充電部が存在する可能性があるため、本製品の取扱い、配管・機器の取外しは注意して行ってください。
- 空気圧機器を使用した機械、装置を起動または再起動する前に、飛出し防止処置などによりシステムの安全性が確保されているか確認してください。

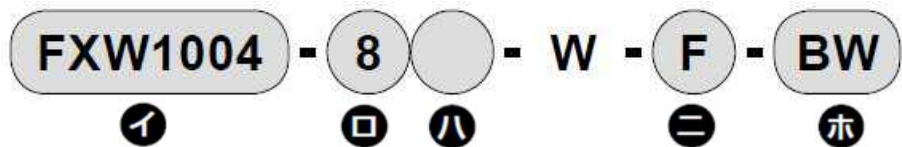
目次

はじめに	i
安全にご使用いただくために	ii
製品に関する注意事項	iii
目次	iv
1. 製品概要	1
1.1 形番表示	1
1.1.1 単体	1
1.1.2 消耗および交換部品	2
1.2 仕様	3
1.2.1 仕様	3
1.2.2 オプション質量表	3
1.3 外形寸法	4
1.4 内部構造	5
2. 取付け	6
2.1 設置環境	6
2.2 開梱	7
2.3 取付方法	7
2.4 配管方法	7
3. 使用方法	11
4. 保守、点検	12
4.1 日常点検	12
4.2 定期点検	12
4.3 ドレン排出方法	13
4.4 メンテナンス方法	13
5. トラブルシューティング	14
5.1 トラブルの原因と処置方法	14
6. 保証規定	15
6.1 保証条件	15
6.2 保証期間	15

1. 製品概要

1.1 形番表示

1.1.1 単体



(イ)機種形番	(ロ)接続口径				(ハ)配管ねじ種類	
内容	接続口径	機種選定			記号	内容
		FXW1004	FXW1011	FXW1037	無記号	Rc ねじ
FXW1004	8	●	●		N	NPT ねじ
FXW1011	10	●	●		G	G ねじ
FXW1037	15		●			
	20			●		
	25			●		

(ニ)オプション			(ホ)アタッチメント(添付)	
ドレン 排出	無記号	手動ドレンコック付 (メタルボウル時は 1/8 めねじのみ)	無記号	添付なし
	C	手動コック付(メタルボウルの場合のみ選択)	BW	C 形ブラケット
	F	手動付オートドレン(NO タイプ: 無加圧時排出有)		
	F1	手動付オートドレン(NC タイプ: 無加圧時排出無)		
保証 期間	無記号	納入後 1 年		
	G	納入後 3 年 (検査成績表、検査要領書、トレーサビリティ体系図付)		
流れ 方向	無記号	標準流れ(左→右)		
	X1	逆流れ(右→左)		

形番選定にあたっての注意事項は、カタログを参照してください。

1.1.2 消耗および交換部品

■ ボウル組立

	FXW1004	FXW1011	FXW1037
手動ペットコック付 メタルボウル組立	FW3000-W-BOWL-M	FW4000-W-BOWL-M	FW4000-W-BOWL-M
Rc1/8 めねじ付 メタルボウル組立	FXW1004-W-BOWL-M	FXW1011-W-BOWL-M	FXW1011-W-BOWL-M
NO オートドレン付 メタルボウル組立	FW3000-W-BOWL-FM	FW4000-W-BOWL-FM	FW8000-W-BOWL-FFM
NC オートドレン付 メタルボウル組立	MW3000-W-BOWL-F1M	MW4000-W-BOWL-F1M	FW8000-W-BOWL-FF1M

1.2 仕様

1.2.1 仕様

形番	FXW1004	FXW1011	FXW1037
使用流体	圧縮空気		
使用圧力 MPa	0.1~1.0 注 3		
耐圧力 MPa	1.5		
流体温度 °C	-20~60(凍結なきこと)		
周囲温度 °C	-20~60		
水滴分離率 %	99 注 2		
最大処理流量 注 1 L/min(ANR)	550	1800	6100
接続口径 Rc、NPT、G	1/4、3/8	1/4、3/8、1/2	3/4、1
質量 kg	0.3	0.5	1.2

注 1: 入り口圧力 0.7MPa 時です。

注 2: 最大処理流量における水滴の分離率です。(気化した水滴(水蒸気)は分離できません)

注 3: オートドレン" F1" の場合、オートドレンの最低作動圧は、0.1MPa です。

0.1MPa 上昇まで、初期発生ドレンとともにエアパージします。

注 4: オートドレン付" F1" の場合、オートドレンの最低作動圧は、0.15MPa です。

注 5: オートドレン" F"、" F1" の場合、ドレンの凍結にご注意ください。

1.2.2 オプション質量表

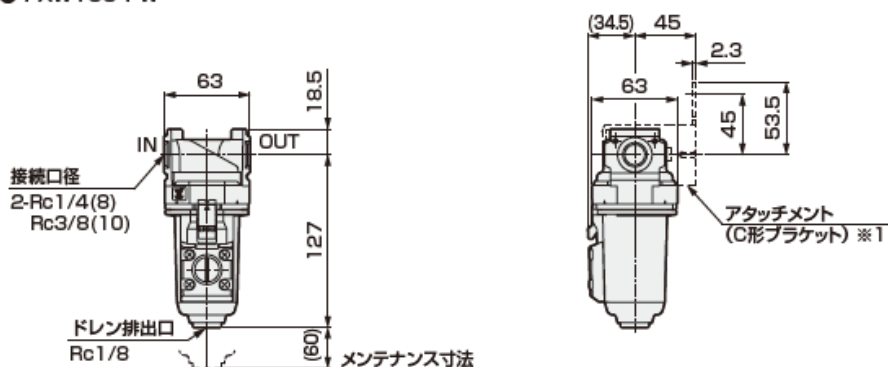
単位: kg

記号	ドレン排出		
	C	F	F1
FXW1004	0	0.02	0.02
FXW1011	0	0.02	0.02
FXW1037	0	0.02	0.02

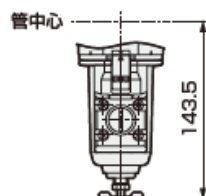
※標準装備品の質量に加算してください。

1.3 外形寸法

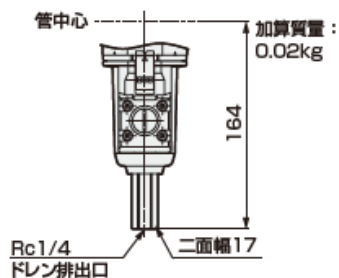
● FXW1004-W



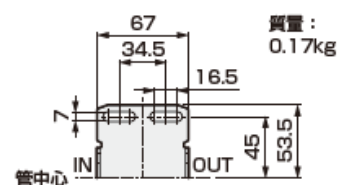
・オプション外形図 手動ドレンコック付(C)



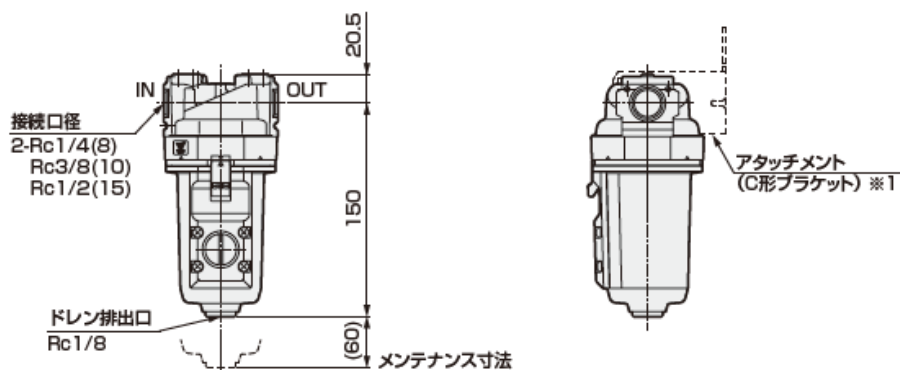
・オプション外形図 オートドレン付(F, F1)



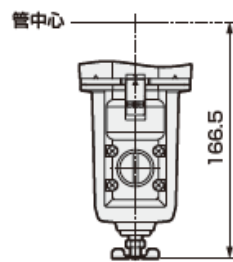
・アタッチメント C形ブラケット(-BW) 部品番号: B320



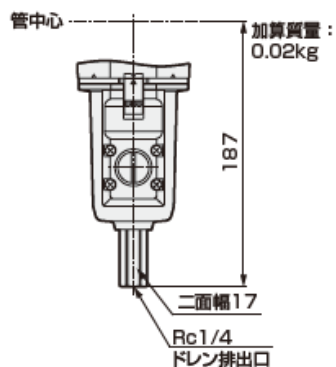
● FXW1011-W



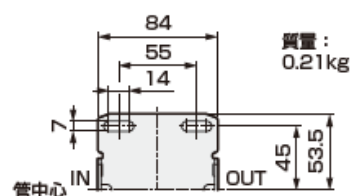
・オプション外形図 手動ドレンコック付(C)



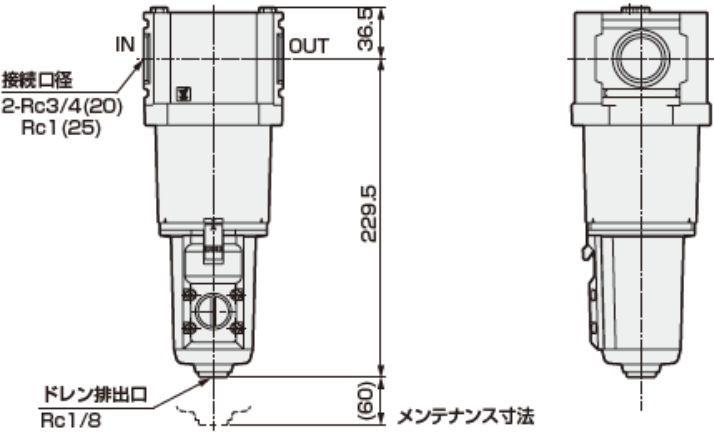
・オプション外形図 オートドレン付(F, F1)



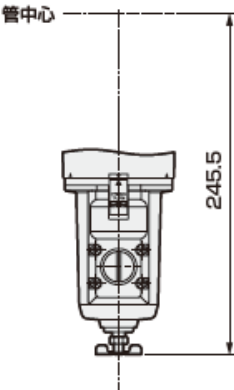
・アタッチメント C形ブラケット(-BW) 部品番号: B420



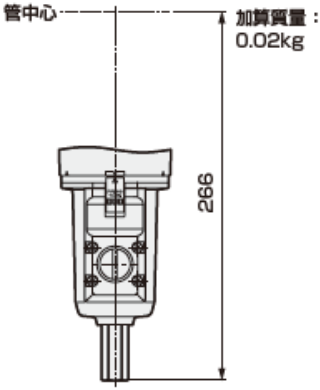
● FXW1037-W



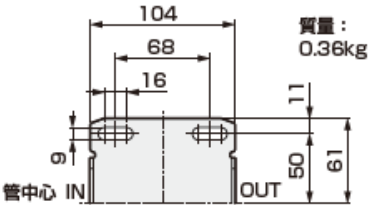
・オプション外形図
手動ドレンコック付(C)



・オプション外形図
オートドレン付(F、F1)

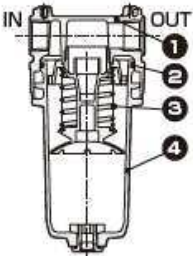


・アタッチメント
C形ブラケット(-BW)
部品形番: B820

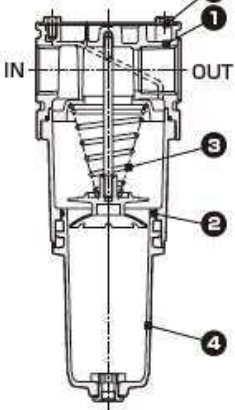


1.4 内部構造

● FXW1004・FXW1011



● FXW1037



No.	部品名	材質
1	ボディ	アルミ合金ダイカスト
2	Oリング	特殊ニトリルゴム
3	スプリング	ステンレス
4	メタルボウル組立	アルミ合金ダイカスト、黄銅、亜鉛合金ダイカスト、ニトリルゴム
5	プレートカバー	アルミ

2. 取付け

2.1 設置環境

警告

寒冷地で使用する際、適切な寒冷地対策を実施する。

- ・ 凍結が発生した場合、漏れや作動不良が発生する可能性があります。エア質の露点管理を適切に行ってください。

注意

周囲環境について、下記の注意事項を守る。

- ・ 振動、衝撃の影響を受ける場所への設置は避けてください。

水潤滑方式のコンプレッサ回路の場合、塩素系物質などが圧縮空気に混入しないようにする。

下記の環境では使用しないでください。

- ・ 周囲温度が製品の使用温度範囲にない
- ・ エアが凍結する
- ・ 水滴、切削油が掛かる
- ・ 多湿で温度変化により結露が発生する
- ・ 潮風、海水の飛まつが掛かる
- ・ 腐食性ガス、液体、化学薬品の雰囲気がある
- ・ 塵埃が多い
- ・ スパッタの雰囲気がある
- ・ 直射日光や風雨、水が当たる
- ・ 周囲に熱源があり、ふく射熱などが当たる
- ・ オゾンが発生する
- ・ 振動・衝撃がある

2.2 開梱

⚠ 注意

配管実施寸前まで開封しない。

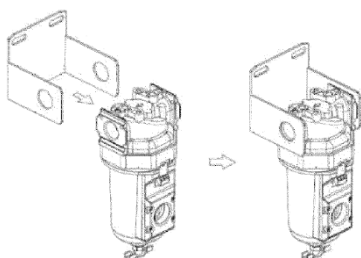
製品内部に異物が入り、故障、誤動作などの原因になります。

- ・ ご注文の製品形番と製品に表示されている形番が、同一であることを確認してください。
- ・ 製品外部に損傷が無いことを確認してください。

2.3 取付方法

■ C 形ブラケット(形番で選定した場合)

下図のように C 形ブラケットを製品に取付けた後、配管を取付けてください。

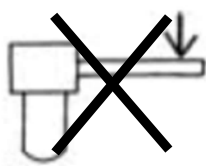


C 形ブラケットの凸部と製品の凹部を合わせて押込む。

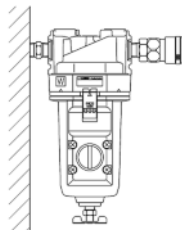
2.4 配管方法

⚠ 警告

ボディ、配管部に配管荷重またはトルクが加わらないようにする。



下図のような片持ち固定の配管は無理な力が掛かり、破損の原因になりやすいため避けてください。



<配管荷重トルク>

シリーズ名	FXW1004-W	FXW1011-W	FXW1037-W
最大トルク (N・m)	50	50	100

 注意

使用する配管はフラッシング、洗浄を十分に行ってから接続する。

配管内にゴミ、異物が残っていると、製品の作動不良を起こす原因になります。

矢印で流れの方向を確認したうえで、正しく接続する。

配管や継手をねじ込むときに、異物が混入しないようにする。

配管や継手類をねじ込むときに、配管ねじの切粉やシール材が混入しないように注意してください。

配管内にゴミ、異物が残っていると、製品が性能低下を起こす原因になります。

配管接続時には適正トルクで締付ける。

ボディ、配管部に配管荷重による曲げモーメントを掛けない。

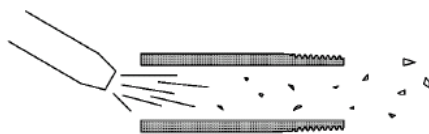
オートドレンのドレン配管は次の条件で行う。

作動不良の原因になるため、ドレン排出部配管は内径 $\phi 5.7$ 以上、長さ 5m 以内とし、立ち上がり配管は避けてください。

ボウルに横荷重を掛けるような配管は避けてください。Rc1/4 めねじに継手などをねじ込む場合は、コックの六角形を固定してねじ込んでください。

■ 配管の清掃

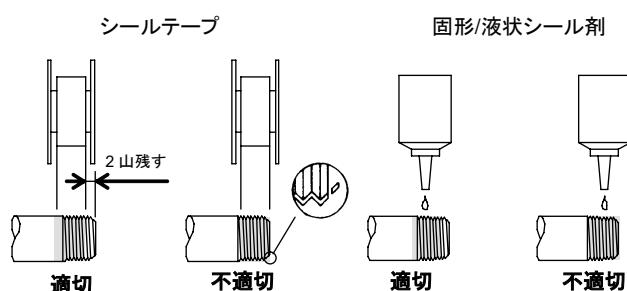
配管の前には、配管内の異物、切削粉などを除去するため、エアブローを行って清掃してください。



■ シール剤

シールテープまたはシール剤は、ねじ部分の先端から2山以上内側の位置に付けます。配管のねじ部分より先端に出ていると、ねじ込みによってシールテープの切れ端やシール剤の残材が配管、機器の内部に入り込み、故障の原因になります。

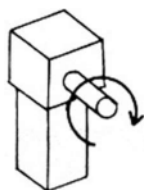
シールテープを使用する場合は、ねじの方向と反対方向に巻付け、指先で押さえてねじに密着させてください。液状シール剤を使用する場合は、めねじ側にはシール剤を塗布しないでください。



■ 配管ねじ込みトルク

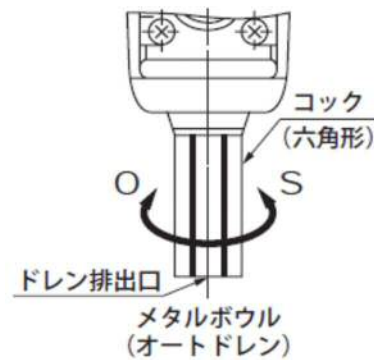
配管するときは、ボディ、配管部に過度のトルクを加えないでください。

シリーズ名	FXW1004-W	FXW1011-W	FXW1037-W
最大トルク (N・m)	30	30	70



■ オートドレン付きドレン配管

ドレン排出口のめねじに継手などをねじ込む場合は、コックの六角形を固定してねじ込んでください。
なお、オートドレン付きメタルボウルの場合、締付ジョイントでドレン配管すると手動操作ができなくなります。



3. 使用方法

警告

製品の仕様範囲内で使用する。
医療関係、人命に関わる装置、回路には使用しない。
この製品は産業用です。

注意

使用回路、使用流体を確認する。
固形物が混入した流体、仕様外の流体を流すと、作動不良を起こす原因になります。固形物が混入しないように、製品の一次側にフィルタを接続してください。

オートドレンの使用条件

<NO タイプオートドレン(無加圧時排出有):“F”の場合>

- コンプレッサは 0.75kW {90l/min(ANR)} 以上で使用してください。
- 圧力は 0.1MPa 以上で使用してください。(0.1MPa に上昇するまで初期発生ドレンとともにエアパージします。)

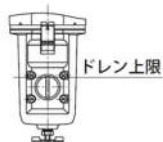
<NC タイプオートドレン(無加圧時排出無):“F1”の場合>

- コンプレッサは 0.75kW 以下でも使用可能です。
- 圧力は 0.15MPa 以上で使用してください。

4. 保守、点検

⚠ 警告

メンテナンスは、供給圧力を止めて残圧が無いことを確認してから行う。
ドレンセパレータのドレンが上限より多くたまらないようにドレン抜きをする。
二次側にドレンが流入すると機器の作動不良の原因になります。



メタルボウル(Cタイプ)

ボウル組立を取外すときは圧縮空気を止め、ボウル内の圧力を完全に排出して残圧が無いことを確認してから行う。

⚠ 注意

使用、メンテナンスは製品付属の取扱注意書を熟読し、内容を理解したうえで行う。
製品を分解、改造しない。
半年～1年おきの定期的なメンテナンスを行う。
消耗部品は1年おきに交換する。
(メタルボウル組立、Oリング)
屋外の使用を保証した製品ですが、耐食性(錆が発生しない、変色しない)を保証したものではありません。

4.1 日常点検

- ・ 保守、点検は本取扱説明書を熟読し、内容を理解したうえで行ってください。
- ・ 本製品を使用する前に、正常に作動することを確認してください。

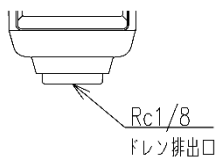
4.2 定期点検

- ・ 本製品を最適な状態で使用するために、定期点検を半年に1回行ってください。
- ・ 配管からの漏れが無い点検することを推奨します。

4.3 ドレン排出方法

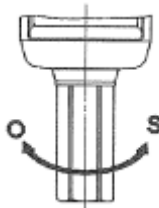
■ ドレンの排出

メタルボウル



ドレン排出口に Rc1/8 のねじがあります。

オートドレン付き メタルボウル



ドレンがたまると自動で排出しますが、手動でも排出できます。

操作方法は手動排出メタルボウルと同じです。

締付ジョイントを配管する場合は、手動操作ができなくなることがあります。

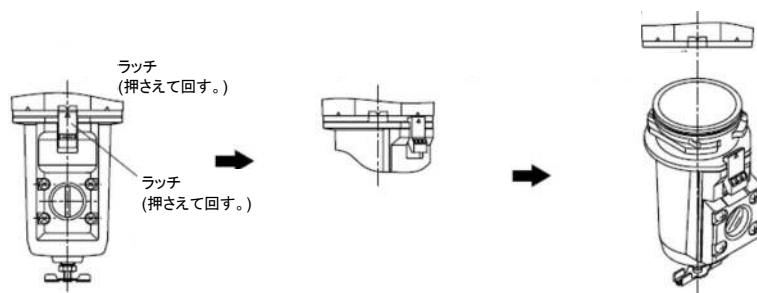
手動排出 メタルボウル



コックを O 方向に回すとドレンが排出され、S 方向に回すとドレンの排出が止まります。

4.4 メンテナンス方法

■ メタルボウルの取外し



5. トラブルシューティング

5.1 トラブルの原因と処置方法

本製品が目的どおりに作動しない場合は、下表に従って点検してください。

不具合現象	原因	処置方法
起動直後にドレンが出る	ドレンが上限位置を超えている	ドレンを排出する ("4.3 ドレン排出方法"参照)
	最大処理流量を超えて使用している	使用流量に合った機種に交換する
ドレンコックを開いてもドレンを排出しない	異物がドレンポートに詰まっている	圧縮空気を止めてボウル組立を外し、ボウル内部を清掃する
オートドレン付で、ドレンを自動排出しない、または空気がドレンポートから漏れる	オートドレンが故障している、またはごみが詰まっている	清掃しても不具合が改善できなければボウル組立を交換する
ボウル取付部から空気が漏れる	ボウルシール用Oリングに傷または異物付着がある	圧縮空気を止めてボウル組立を外し、Oリングを清掃または新品に交換する
	ボウルが破損している	圧縮空気を止めてボウル組立を外し、ボウル組立を新品に交換する

その他不明な点は、最寄りの当社営業所、代理店にご相談ください。

6. 保証規定

6.1 保証条件

■ 保証範囲

下記保証期間中に明らかに当社の責任と認められる故障が発生した場合、本製品の代替品や必要な交換部品の提供、または当社工場での修理を無償で行わせていただきます。

ただし、次の項目に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外させていただきます。

- ・ カタログ、仕様書、本取扱説明書に記載されている条件・環境以外で取扱いしたり、使用した場合
- ・ 取扱不注意などの誤った使用、誤った管理に起因する場合
- ・ 故障の原因が本製品以外の事由による場合
- ・ 製品本来の使用方法以外で使用した場合
- ・ 当社が関わっていない改造または修理が原因の場合
- ・ 本製品を貴社の機械、装置に組込んで使用されるとき、貴社の機械、装置が業界の通念上備えられている機能、構造などを持っていれば回避できた損害の場合
- ・ 納入当時に実用化されていた技術では予見できない事由に起因する場合
- ・ 天災、災害など当社の責任でない原因による場合

なお、ここでいう保証は、本製品単体の保証を意味するもので、本製品の不具合により誘発される損害については除外させていただきます。

■ 適合性の確認

お客様が使用されるシステム、機械、装置への当社製品の適合性は、お客様の責任でご確認ください。

■ その他

本保証条項は基本事項を定めたものです。

個別の仕様図または仕様書に記載された保証内容が本保証条項と異なる場合には、仕様図または仕様書を優先します。

6.2 保証期間

本製品の保証期間は、貴社のご指定場所への納入後 1 年間といたします。